

第2回 学校運営協議会レポート

～地域・家庭・学校で子供たちの成長を支えるために～

令和8年6月30日 開催
教職員共有用資料



発行：学校運営協議会



先生方、日々の教育活動ありがとうございます！

6月30日に行われた「第2回学校運営協議会」での話し合いの内容をまとめました。学校行事での先生方のご尽力、そして子供たちの素晴らしい姿に対し、委員からたくさんの称賛の声が寄せられています。



子供たちの全力の姿と、
保護者・教職員の
素晴らしい連携！

運動会



先生方の授業の工夫と、
保護者の高い関心。

学校公開



素敵な挨拶の輪と、
地域で見守るべき
現代の課題。

日常の様子

委員からの「🌻 良かった点」と「🌱 今後の課題」を共有し、明日からの学校運営に活かしていきましょう。

運動会（子供たちの様子）：全力で挑んだ感動の姿と、これからの配慮事項

良かった点（感動の声が多数！）



全力の表現:
準備や練習から最後まで、全力で頑張る姿が素晴らしかった！

応援とマナー:
応援席でのマナーが良く、他学年の演技中も一緒に踊って楽しむ姿がありました。

立派な態度:
いつもと違う環境でもルールを守り、挨拶も大変立派でした。

これからの課題（配慮・工夫が必要な点）



待機・移動のサポート:
徒競走後に戸惑う子や、スタンドで一人ポツンとしてしまう子への配慮。

体力面への配慮:
低学年は会場までの移動距離が長く、天候による体力消耗への懸念。

種目の工夫:
綱引きなど「集団でする演目」がもう少しあると良いという意見。

🏆 運動会（大人たちの連携）：想定外を乗り越えた、保護者と教職員のワンチーム



【保護者・参観者】

🌻 良かった点

ビブス着用ボランティアのやる気が素晴らしく、受付時の譲り合いや「思いやり席」の運用も大成功。平日にも関わらず最高の協力体制！

🌱 課題

受付集金の時間ロス、立入禁止エリアの周知不足、写真撮影場所のルール徹底、足の不自由な方への移動支援。



【教職員】

🌻 良かった点

朝までの雨という想定外の事態にも、校長先生をはじめ先生方が走り回り、コーンを置いて臨機応変に対応する姿に「感謝しかない」との声！先生方も楽しそうでした。

🌱 課題

時間の制約（子供にもっとやらせてあげたい葛藤）、引き渡しアンケート未回答者への連絡、配慮を要する子への共通理解、放送の聞き取りにくさ。



学校公開日：学びに向かう子供たちの姿と、先生方の細やかな授業の工夫



良かった点（意欲と工夫）

子供たちの喜び：お家の人に来てもらえて嬉しそうな低学年。保護者を気にしつつも一生懸命・意欲的に学習に取り組む姿が見られました。

先生方の授業の工夫：授業形態が多様で、子供たちの良いところを見つけて伸ばそうとする先生方の工夫が随所に！

保護者の関心：平日でも大変多くの方が熱心に参観。混乱もなく、給食の公開も好評でした。



これからの課題（配慮とルール）

子供のケア：「親が来てくれなくて寂しくなる子」への声掛けや特別な配慮。

参観マナー：参観中の保護者の私語や、校内でのスマホ使用（遠慮願いの徹底の難しさ）。

先生の負担：「いつも通りの授業」を見せる難しさや、公開中の先生方の気疲れ・負担感（給食公開は要検討）。

日常の様子：日々の成長のサインと、地域全体で見守るべき現代の課題



成長を感じる素敵な姿

☀ 気持ちの良い挨拶：
朝の旗振りの際、元気よく挨拶
してくれる子がいます！



地域・家庭と
連携すべき課題

🌱 学習習慣・安全：ノートを書く際
に「下敷き」を使用していない子
が多い点や、低学年が横断歩道で止
まったり戻ったりする危険な場面。

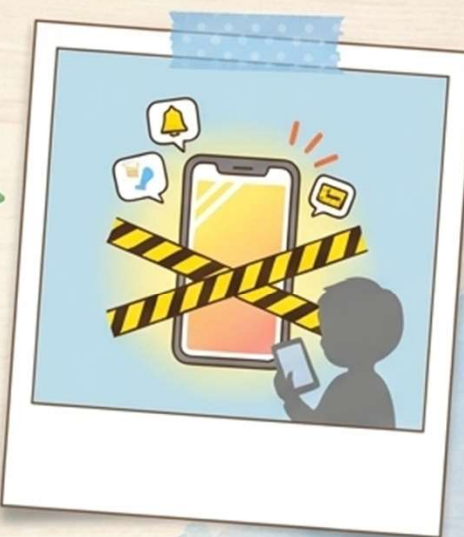
🌱 家庭との連携：「自分の子を指導
できない保護者」や、「家庭のトラ
ブルの解決を学校に求めるケース」
が増加傾向。雨天時の送迎ルール
徹底も課題。

☀ 集中して学ぶ姿勢：
先生の話集中して聞き、楽
しく学習しています。
卒園生からも「学校が楽しい」
という嬉しい声が。



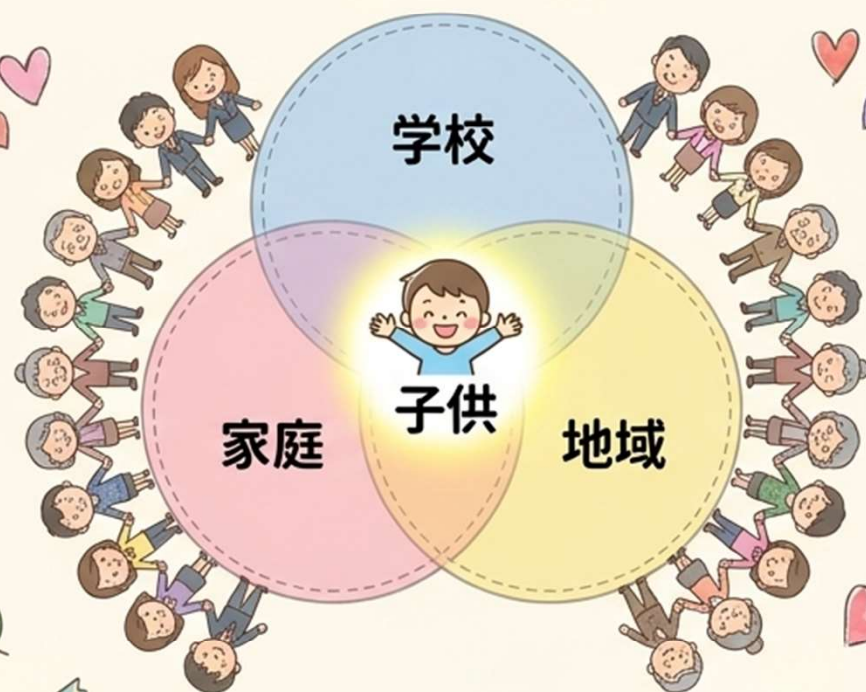
集中して学ぶ姿勢

🌱 放課後・デジタル：放課後
や休日・下校中のトラブル。
「楽しいことに流されてしま
う」傾向や、SNSやGPSにまつ
わる課題があります。



結びのメッセージ：地域・家庭・学校が「同じスタンス」で歩むために

協議会の最後には、子供たちを取り巻く大人たちがどう連携していくべきかについて、重要な共通認識が生まれました。



【私たちが目指す3つの連携姿勢】

-  **温度差をなくす**
学校・家庭・地域の間にある認識のズレ（温度差）を埋め、歩調を合わせること。
-  **フィルターとなる対話**
情報モラルやICT(SNS等)の使い方について、学校と家庭の両方で話し合い、子供を守るフィルターとなること。
-  **同じスタンスで**
トラブルや課題に対して責任を押し付け合うのではなく、地域・家庭・学校が同じベクトル(スタンス)で子供たちに向き合い、育てていくこと。

先生方、いつも子供たちのために全力で向き合っていただき本当にありがとうございます。
これからも、地域・保護者と手を取り合い、温かい学校づくりを進めていきましょう！